

JABEEシンポジウム

「工学教育に期待する教育成果とその質保証」

～高等教育機関の認証評価制度の刷新を踏まえた工学分野での議論喚起～

総合討論

自己紹介

◆経歴等

1991年 太陽コンサルタンツ株式会社（現NTCコンサルタンツ株式会社）入社
建設コンサルタントとして農業・農村に係る業務に従事

◆JABEE

2015年以降、研修員を含め5回の審査に携わる
（エンジニアリング系学士課程 農業工学及び関連のエンジニアリング部門）

◆プライベート

1男3女の母

2013年にスタートした大学生の保護者生活は、昨年の秋（13年目で）無事終了！
（理系2名、文系2名×国立2名、私立2名）

大学教育に期待していること 特に工学教育に対して期待していること

- 大学・大学院を出てから数十年間エンジニアとして働くための基礎体力づくり
- 卒業時点だけでなく、卒業後に伸びていくための資質・能力

※児童(算数)から生徒(数学)へ、生徒、学生から工学・農学・理学系の技術者へ

- 技術、技術者とは何かをじっくり考える時間

これからのJABEE活動に期待すること

◆国際性：教育、人材育成は世界共通のテーマ

- JABEEとの出会い：インドネシア ボゴール農科大学の認定
- JABEEはワシントン協定、ソウル協定、キャンベラ協定に加盟し、諸外国の技術者教育の考え方を取り入れ、国際的な技術者教育の同等性を確保していることが魅力。
- 各国の大学の単位相互認証等を通じた留学モビリティの拡大等により、国際的に活躍する技術者の育成を推進することを期待。
- 諸外国の「知恵」も借りて、日本の「知の総和」だけではなく、世界の「知の総和」の向上に向けて活躍していただきたい。

これからのJABEE活動に期待すること

◆産業界との連携：技術者が成長し続けるために

- 大学の教育の質の向上の効果は、卒業後長期にわたって発現するものであり、卒業後の成長(状況)を踏まえた改善が不可欠。(もちろん、就職先における教育の改善も重要)
- 「認定」というシステムの中に卒業後の社会(産業界)が参加することがビルトインされているJABEEというしくみは、大学と産業界が人材育成について改善しあう機会として貴重。
- 連携手法の検討と積極的な取り組みが、大学教育、企業における人材育成の改善(W I N W I N)につながることを期待。